

AnyMind Group、カルビー「Body Granola」のシンガポール市場展開に おける支援を開始

日本とシンガポール拠点が連携し、調査・戦略策定からECサイト構築、マーケティング・カスタマーサポートまでを包括的に支援



AnyMind Group株式会社（読み：エニーマインドグループ、代表取締役CEO：十河 宏輔、以下「当社」）は、カルビー株式会社（代表取締役社長 兼 CEO 江原 信、以下「カルビー」）の「Body Granola（ボディグラノーラ）」のシンガポール市場展開における支援を開始しました。

その取り組みの一環として、当社が構築した「Body Granola」のシンガポール市場向けECサイトが本日公開されました。

「Body Granola（ボディグラノーラ）」シンガポール向けECサイト

URL：<https://sg.bodygranola.com>

■背景

「Body Granola」は、個人の腸内環境を検査しグラノーラを定期購入するパーソナルフードプログラムです。2023年より日本国内で販売・展開していましたが、カルビーでは今後の成長に向け、海外市場、とりわけシンガポール市場への進出を検討していました。その中で、現地市場調査、販売戦略の策定、さらにECサイトの構築からマーケティング施策までを一気通貫で支援できるパートナーを必要としていました。

■支援内容

当社では、日本拠点とシンガポール拠点が連携し、調査・戦略策定からECサイト構築、マーケティング・カスタマーサポートまでを包括的に支援しています。

すでに完了した支援

- シンガポールを含むアジア市場調査（市場環境・消費者動向）
- 越境配送に関する調査
- シンガポール市場における販売計画および戦略の策定
- シンガポール向けECサイトの構築・公開

今後開始予定の支援

- シンガポール向けECサイトの運用・保守
- インフルエンサーマーケティングプラットフォーム「AnyTag」を活用したシンガポール市場におけるマーケティング戦略の策定およびキャンペーンの実施・分析
- カスタマーサポート対応（ECサイト等からの問い合わせ窓口運用）

■カルビー株式会社 常務執行役員 兼 CTO 中野 真衣氏のコメント

腸内環境はひとり一人異なり、腸内細菌叢は健康な人でも個人ごとで異なります。腸内環境が違えば、同じものを食べ同じ行動をしても、体への影響が異なる事が分かっています。その為、個々人に合わせた腸内細菌へのアプローチが個人に合った健康につながると考えています。これまでの実績に加え、今回AnyMind様のお力添えもいただき、世界への足掛かりとしてシンガポールでの展開を開始する運びとなりました。パーソナライズで腸内環境にアプローチする新たなサービスでお客様の健康に貢献したいと考えております。

■AnyMind Group 代表取締役CEO 十河 宏輔のコメント

今回の取り組みでは、日本とシンガポールの両拠点が連携し、市場調査や戦略策定からECサイトの構築、運用・マーケティングまでを一気通貫で支援しています。各市場の消費者特性や商習慣を踏まえ、現地に最適化した形で事業立ち上げを進められる点は、当社の強みの一つです。今後は、シンガポール市場での拡販支援にとどまらず、他のアジア市場への展開も視野に入れ、EC運営やマーケティング、オペレーション面での支援を通じて、「Body Granola」の中長期的なブランド成長に貢献してまいります。

■カルビーグループについて

1949年の創立以来、私たちは、自然の恵みを大切に活かし、おいしさと楽しさを創造して、人々の健やかな暮らしへの貢献を実践してきました。変わらぬ企業理念のもと、100年を超えてなお挑戦を続ける企業になるべく、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。カルビーグループは、次なる成長に向けた変革に踏み出すことで、新たな食の未来を創造します。
URL：<https://www.calbee.co.jp>

■AnyMind Groupについて

プレスリリース
報道関係者各位



AnyMind Group株式会社
2026年4月21日



AnyMind Groupは、2016年にシンガポールで創業し、アジア市場を中心に15カ国・地域に拠点を構えるテクノロジーカンパニーです。SNSマーケティングやソーシャルコマースを起点に、ECからオフライン流通までを横断するBPaaS（Business Process as a Service）モデルを通じて、データとオペレーションを一体的に提供し、ブランド企業の事業成長を支援しています。東証グロース上場（証券コード：5027）

URL : <https://anymindgroup.com/ja>

【本件に関する報道・メディア関係者からのお問合せ先】

AnyMind Group株式会社

Communications（広報・PR）

メールアドレス：jp-pr@anymindgroup.com